

# 日奈久っ子



八代市立日奈久小学校  
学校便り 第13号  
平成30年12月5日発行  
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

## これからの社会に生きていく子ども達に求められている力とは？

11月30日（金）の授業参観等、大変お世話になりました。人権教育（道徳）はいかがだったでしょうか。どの学年も、真剣に考えている姿がありました。子ども達には、相手の気持ちを考えた、思いやりのある言動ができる人になって欲しいですね。

さて、保護者の皆様は、学校における教育の基準を示した「学習指導要領」をご存じでしょうか。子ども達が学習で使用している「教科書」は、国（文部科学省）が策定したこの「学習指導要領」を元に作成され、国の検定を受けたものなのです。学習指導要領は、教科等毎に解説書があります。全部を重ねて厚さを測ると12cm以上です。日本の学校はこの基準を元に教育を進めているため、全国どこでも、同程度の教育が受けられるのです。すごいですね。因みに教科書は無償で配付されていますよね。これもありがたいことです。（写真は学習指導要領の解説書。教科等毎にあります。）



その小学校の学習指導要領が昨年改訂され、平成32年度から新たな学習指導要領が全面的に実施されます。学習指導要領は、約10年に1回改訂されますがそれは、時代とともに社会に必要とされる力が変化するからです。では、これからの時代を生きていく子ども達には、どのような力が必要であると考えられたのでしょうか。

これからの時代は、社会の構造や雇用の環境が変化（少子化による生産年齢人口減少・グローバル化・技術の革新やAIの飛躍的な進化など）し、この先どうなるのか予測が困難な時代である。だからこれからの時代を生きる子ども達に必要な「生きる力」は・・・

- 1 様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力
- 2 様々な情報を見極め知識を概念的に理解した上で、情報を再構成して新たな価値につなげていく力
- 3 複雑に変化する状況変化の中でも、目的を再構築することができる力

先日のPTA教育講演会での三角先生のお話の中にも、「今ある仕事の4割は、子ども達が大人になる頃にはなくなると言われている。」というお話がありました。

本年度から2年間は移行期間です。3,4年生には「外国語活動」5,6年生には「外国語科」（他者との協働には「外国語」も必要）また「道徳」が教科化（他者との協働には「道徳性」が必要）。ICT等の活用やプログラミング教育（再構成、再構築の力）も今後位置づけられてきます。また、家庭や地域との連携についてもさらに取り組むようにされています。



学校教育は今後さらに深化の時を迎えています。そこには、家庭や地域との連携が、これまで以上に重要です。子ども達にこれからの社会や生活の中で必要な「生きる力」を、皆さんと共に育んでいきましょう。

## 地震避難訓練及び引き渡し訓練～命を守る判断と行動のために

11月21日（水）に小中合同の避難訓練及び引き渡し訓練を行いました。まず、地震発生の緊急放送を聞いた子ども達は、先生の指示に従い机の下に潜るなどの身を守る体制をとりました。次に、運動場避難の指示の放送を聞いた子ども達は、静かにあわてずに移動し、26秒で全員避難整列、人員確認を終えることができました。大変上手に避難できていたと思いました。

運動場には日奈久中学校の生徒も同じ場所に整列し、八代市役所危機管理課の中武さんから非常時の命の守り方等について話を伺いました。その後、保護者の皆様へ、しっかり確認をとって子ども達を引き渡しました。

私たちは熊本地震を経験しています。非常時に命を守るためには、学校を含む地域全体がどのように判断し、行動するといったのかわ、平常時にシュミレーションしておく必要があります。まずは「自助」次に「共助」最後に「公助」です。今回の引き渡し避難訓練には、市政協力員の皆様を始め多くの地域の方々が関心を寄せていただきました。今後も地域ぐるみで防災について考え、学び、実践できたらと思っています。ご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様大変お世話になりました。

